

# チム九

印刷を支え加工を活かす

## 松尾 剛志

工場本部  
本社工場 課長

工場本部の本社工場で課長を務める松尾剛志さんは、新卒で旭紙工株式会社に入社しました。現在はカレンダーの製造を中心に、特殊製本の作業にも従事しています。カレンダーの仕事は、毎年新たな気づきを自分にもたらしてくれるという松尾さん。そこで得た学びに迫ります。



——カレンダー製造で特に印象に残っているお仕事などはありますか。

カレンダーはリピーターのお客様もおりますし、新たな案件もあります。毎年同じような作業をしていても、その年によって様々な発見があるのです。2020年版についていえば、仕事の内容そのものよりも、自分の従業員へのアプローチを変えなければならぬことが判明しました。

カレンダー製造では、実は毎年、数件の事故が発生しています。これは名入れの部分の間違ったまま出荷してしまう事故で、大きな問題となっていました。この事故をいかに減らしていくか、毎年製造の時期になると気を引き締めて臨むのですが、今年は特に、作業に従事するメンバーが変わったことで、より一層厳しく指導をしてきたつもりです。

旭紙工では、外国人技能実習生を受け入れております。例年、カ

レンダーの製造については日本人従業員と実習生の割合は半々か、もしくは少し日本人の方が多い人員構成で作業をしていました。それが2019年は、実習生の割合が一気に上がったのです。まだ日本語に馴染みのない実習生たちですから、不慣れな分、2020年のカレンダーは例年以上に事故が起きてしまうと想定して、しっかりと指導をしてきました。

——ところが蓋を開けてみれば、実習生が起こした事故は0件だったのです。全体的には1件の混入がありました。それは日本人の社員によるものでした。自分は今まで、実習生に対して日本人従業員と変わらず、一人の人間として接してきたつもりでした。それでも心のどこかで「実習生は作業に不慣れだから、間違いを起こしてしまうだろう」という先入観があったと気づいたのでした。しかし実際には、こちらの指示をしっかりと聞き、決められた作業を正しく行ってくれています。どんなベテランであっても間違え可能性はあるし、経験の浅い実習生であっても完璧に仕事をこなしてくれる。社歴や、国籍は関係ない。そのことを痛感させられた出来事でした。今後は、この学びを指導の際にも活かしていきたいと思っています。

——ありがとうございます。それでは普段、実習生の方たちと接する中でどんなことを意識していますか。

言葉が通じないと、自分の気持ち

——最後に、今後の目標について教えてください。

会社の売り上げを上げるために、色々な仕事に挑戦したいと思っています。今手掛けている作業が少し落ち着いたら、まだ覚えてない設備の操作を学びたい。特にカレンダーのシーズンオフの時期に動いている無線関係の機械は、自分にとって未知の世界ですから、そこにもチャレンジしていきたいらと思っています。

社長は、「早く退社できて、給料の良い会社」を目標としています。そこに少しでも近づけるよう、設備の稼働率を上げ、売り上げ向上の一助になりたい。そして、みんなで和気あいあいと楽しく仕事ができる環境を作っていけたらと思っています。

新たな気づきを得るたびに、成長を続けてきた松尾さん。これから始める挑戦は、旭紙工の発展に大きく貢献するに違いありません。

### 企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：15億円
- ◆ 従業員数：200人





# The FOCUS

## 品質保証部 品質検査課 編



私が  
紹介します

品質保証部 品質検査課  
やまだ ゆき  
山田 幸希さん



### 主な業務内容とメンバー構成

お客様に渡すサンプルの確認が主な業務ですね。数が多いものでは10万~20万の製品を作っているの、間違いがないように工場内を見回って、サンプルがお客様の指示通りになっているかを確認しています。サンプルに不備があれば、サンプルの再作成を他部署に依頼するのも業務の一つです。私とパートの豊川忍さんと岡田さおりさんの3名体制でやっています。

### 実は大変なこと

集中力が必要なので、毎日が大変です。サンプルに不備があった場合は、もう一度作成をお願いしに行ったり原因を追求したりするのですが、繁忙期は件数が20件にも上り、遅くまでバタバタです。3名だけと少ない人数で協力してなんとか働いています。



### 好きなところ

新しい情報や新しい商品など、まだ世に出していないものに触られることです。私は美術館の絵を鑑賞するのが好きなので、そういった関連のポスターや冊子をサンプルで見かけると嬉しくなります。少し変わった加工方法を見かけると、こんな加工の仕方もあるのかと勉強にもなります。

### 独自の取り組み

繁忙期は特に、時間との闘いなので、どう時間短縮できるかを常に考えて工夫しています。たとえば、一つひとつ包装していると時間がかかってしまうものは、封筒でまとめて発送するなど、手間を減らして簡略化することを心がけています。



### 品質検査課 活躍している人

とよかわ しのぶ  
豊川 忍さん



1月から3名体制となりましたが、それまではずっと二人三脚で、苦楽を共にしてきた豊川さん。私は頭で考えていることを相手に正確に伝えることが苦手なのですが、彼女はいつもそんな私をフォローしてくれます。サンプルを作ってください他の部署の方とのやり取りや、まだ商品加工していないサンプルを持って利用をお願いしに行くときのやり取りなど、毎日の業務の中でコミュニケーションは欠かせないものです。そんな品質検査課の業務の中で、本当に毎日豊川さんには助けてもらっています。本当にいつもありがとうございます。まだまだ至らないところばかりで、コミュニケーションも下手な私ですが、豊川さんを見習って頑張っていきたいです。

### 思い出深いエピソード

検査業務とは別ですが、不備が社外に出してしまったときに1ヶ月間、各部門ごと何件発生したのか、発生した損金の合計はいくらかを計算してまとめる仕事をしたことがあります。普段の仕事が終わらないと落ち着いてできないので、この業務に着手するのは夜遅くでした。集中力が落ちる時間帯なので間違えないようにと気をつけていたのですが、結局間違ってしまうと、その時はショックでした。深夜までかかってやったので、ミス無く終えたかったという気持ちがありますが、なにはともあれ思い出深い仕事でしたね。



### 他の部門に伝えたいこと

作成をしてくださる方がいて初めて確認作業ができますから、それだけでいつも感謝しています。たまに無理なお願いをすることもあります。応えてくださってありがとうございます。不備が見つかるとう再作成で時間がかかってしまうので、今後も良いサンプルを作成してください！お願いします。

### 目標

効率化を目指しつつ、夜遅くならないように頑張ります。先述した包装をまとめる工夫以外にも、何か良い案があれば、ぜひ取り入れたいので教えてください！